

一致を意味する。

某縣會議長の息にして大學教授たる某氏は二萬圓の金の爲に親を訴へてお家騒動を起してゐる、思想の昏亂であり日本精神を忘れたのである。某妻君其の夫に對して曰く、お母さんと私とどちらを愛しますかと、夫答へてお母さんを大切にせねばならぬと、其妻君遂にヒステリーとなりしと謂ふ、自己のみを知りて他を顧みざるは日本精神にあらず、親は子を愛し子は親を慕ふ家族精神こそ日本精神なり。

明治の維新は所謂特權階級たる武士が自分の持てる特權を棄てたので維新の改革が出来たのである、日本人は再び昭和維新の斷行をすることを確信する、自分の特權に執着せず國家の大事が成就したのである。

軍部の豫算要求は最少限度であり、大正十年以來約束の金で

ある。軍費の削減に汲々たりし結果今回の上海戦、母に於て鐵兜が行きわたらなかつた爲多くの死傷者を出したではないか、其の戦死者は諸君の兄弟である。

大戦に當りては吾々は再生を毛頭期してゐない、其の故に軍人は眞剣である。金を費つて國は亡びず、ドイツを見よ、國は金の爲に亡びず國民精神の如何に依る、國の四圍とゆ外敵の迫る時軍備より外に何物もない、軍事豫算を削減するものは國賊である。一方には陸海軍を離間せんとする者もある。アメリカは現在如何なることをなしつつあるか、支那に對しての飛行機の援助は日本に最も痛いのである、二三年後には千臺位準備が出来る、一方ロシアと提携して目的の爲には手段を選ばない有様である。

ロシアは今や極東に八個師團の兵力と其他騎兵や戰車隊飛行